

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 683 号	氏名	大坪 竜太
学位審査委員	主査	下川 功	
	副査	増崎 英明	
	副査	江口 晋	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、乳癌患者の腋窩リンパ節廓清の適応を決定するセンチネルリンパ節への癌転移を検出する Semi-dry dot-blot (SDB)法の有用性を評価したものであり、目的は妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 センチネルリンパ節断面の洗浄液中に含まれる細胞から抽出したタンパク質におけるサイトケラチンの有無を SDB 法により検出した。術中迅速病理診断、術後の永久標本による病理診断との比較によって、SDB 法の感度、特異度、一致度、所用時間、費用を比較した研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記の手法で解析した結果、SDB 法は、正確、迅速、安価であることが証明された。リンパ節組織が残ることは、従来の病理組織診との併用が可能であり、キット化が実現すれば、病理医の負担を軽減し、病理医が不足している発展途上国や僻地でも利用可能であることが示唆された。今後の乳癌の診断と治療学への貢献が多いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は乳癌研究と治療に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			